様式第７－２号（第13条関係）

令和○○年○○月○○日

助成事業完了日（技術検討が完了し、且つ契約、取得、実施、支払いが全て完了したと認められる日）翌日から15日以内の日付にしてください。

（例）助成事業完了予定日：令和３年12月31日

助成事業完了日：令和３年12月25日

報告書提出期限：令和４年　2月　9日

青字部分がご記入いただく箇所です。

公益財団法人　東京都中小企業振興公社

　　　　理　　事　　長　　　殿

・申請書に記載した内容を記入してください。

（※「変更届（様式第４－４号）」を提出された場合は、変更届の内容を記入してください。）

・「代表取締役」等についても正確に記入してください。

〒○○○－○○○○

所在地　東京都□□区△△町×－×－××

名　　　　　称 ○○○○株式会社

**之印**

代　表　者　名　代表取締役　東京　太郎　　実印

電　話　番　号　03－○○○○－××××

申請書に押印した印鑑登録済の代表者印（実印）

**令和２年度製品開発着手支援助成事業　実績報告書**

令和３年１月１２日付２東中企助第２４６６号をもって交付決定の通知があった助成事業が完了したので、下記のとおり報告いたします。

記

交付決定通知書に記載された内容を記入してください。

１　申請テーマ　　　〔　○○の研究開発に係る△△の検討　　　　　　　 〕

２　助成事業実施期間　　令和　３年　１月　１日　～　令和　３年１２月２５日

助成事業完了日（技術検討が完了し、且つ契約、取得、実施、支払いが全て完了したと認められる日）を記入してください。

３　助成事業実施内容及び成果・・・・・・・・・・（付表１）

４　助成対象資産表・・・・・・・・・・・・・・・（付表２）

５　提出書類　　　　ア　助成事業の実施に係る見積書、契約書、注文書・注文請書、

納品書、請求書、振込控、領収書等

イ　助成事業の成果を明らかにするための

①写真　②図面　③資料　④登録証・付随書　④報告書　等

様式第７－２号（付表１）

概ね予定通りの結果が

得られた場合の例

助　成　事　業　実　施　内　容　及　び　成　果

|  |
| --- |
| １　助成事業実施内容及び成果  　※申請書記載の技術検討内容の結果について記載してください。  （1）事業内容  ○○の検討にあたり、課題であった△△について調査し試作を重ねたことで方向性が確認できた。××装置を試験した結果は、申請時に想定された程度を上回ることができた。  課題をどのように検討して完了したのかを簡潔に記入してください。  （2）事業の経過（日程を含む）  ・申請時点のスケジュールから約１ヶ月遅れて終了した。原因は、□□□の設計変更が生じ、委託先との調整に時間を要したためである。  ・当初課題として挙げた××部分については、やはり設計図の修正が必要となり、修正図面を作成した。☆☆研究センターのアドバイスに基づき、××部分の□□を＊＊したことにより、耐久温度も強度も目標以上の成果となった。  本助成事業全体の経過を簡潔に記入してください。  申請書の変更があった点についても記入してください（変更承認申請・届出を行ったものは除く）。  （3）事業の成果（技術検討項目全ての結果のまとめ）・・・（詳細は付表３）  ・検討項目「仕様設計検討」については、様々な材質を検討した結果、最も採算性の高い〇〇を使用することとした。報告物の試験報告書にて材質毎の評価表を記載した。  ・検討項目「データ解析」については、想定される様々なパターンを解析し、計算結果が収束されることを確認した。報告物である計算結果報告書に解析の結果を記載した。  申請書の技術検討項目に対する検討結果状況を記入してください。  また、検討結果の根拠となる成果物についても記入してください。  （4）成果に対する今後の展開及び見通し（製品化に向けた課題、今後の対応等）  今回の検討により開発の方向性が明確になった。来年度の本格開発に向けて、山積している課題を一つずつ解決していきたい。 |

様式第７－２号（付表１）

概ね予定通りの結果が

得られなかった場合の例

助　成　事　業　実　施　内　容　及　び　成　果

|  |
| --- |
| １　助成事業実施内容及び成果  　※申請書記載の技術検討内容の結果について記載してください。  （1）事業内容  ○○の検討にあたり、課題であった△△について調査し試作を重ねたことで方向性が確認できた。××装置を試験した結果は、申請時に想定された程度を大幅に下回るものとなった。  （2）事業の経過（日程を含む）  ・申請時点のスケジュールから約３か月遅れて終了した。原因は、□□□の強度不足が判明し、委託先との調整に時間を要したためである。  ・当初課題として挙げた××部分については、強度不足が判明した。その後、☆☆研究センターのアドバイスに基づき、××部分の□□を＊＊に変更したものの、当初予定した強度には至らなかった。  （3）事業の成果（技術検討項目全ての結果のまとめ）・・・（詳細は付表３）  ・検討項目「仕様設計検討」については、様々な材質を検討したが、当初予定した強度には至らなかった。報告物の試験報告書にて材質毎の評価表を記載した。  ・検討項目「データ解析」については、想定される様々なパターンを解析し、計算結果が収束されることを確認した。報告物である計算結果報告書に解析の結果を記載した。  （4）成果に対する今後の展開及び見通し（製品化に向けた課題、今後の対応等）  今回の検討により本技術を用いての開発は断念することとした。今後は、代替技術▲▲を用いての開発が可能か再検討していく予定である。 |

様式７－２号（付表２）中小企業技術活性化助成事業

　　　　助成対象資産表（成果物・試作品及び50万円以上購入物一覧表）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 成果物等名称 | 個数 | 取得価格 | ステッカー整理番号 | 備考 |
| ＊＊＊＊＊ | １ | ２００万円 | １ |  |
| ○○○○調査報告書（成果物） | １ | ４０万円 | － |  |
|  |  | 万円 |  |  |
|  |  | 万円 |  |  |
|  |  | 万円 |  |  |
|  |  | 万円 |  |  |
|  |  | 万円 |  |  |

・**成果物（金額に関わらず必須）**及び**１件あたりの単価が税抜50万円以上の購入品**を記入してください。

・**１件あたりの単価が税抜50万円以上の購入品及び委託・外注による成果物（試験・評価レポート等は除く）**には公社配布のステッカーを貼った写真を添付してください。

・「ステッカー整理番号」は公社配布のステッカーに記入した番号と合わせてください。